

子どもが主役の街「キツザニア東京」(東京都江東区)で、林業の仕事を経験できる。5月26日(水)、この街に「キツザニアの森」がオープンしました。

このパビリオンは、環境NPOオフィス町内会が出展しているもの。植林してから枝打ちや間伐などの手入れをしながら育て、伐採して木材として使うまでの工程をボードで学んだ後、手入れの1つ、枝打ちを体験します。

ここでは、子どもはグリーンマイスター(林業作業士)です。まず、安全に作業するためにヘルメットなどの装備を整えます。それから枝打ちボードに、木の成長のために切る枝を表示して計画を立てます。

スーパーバイザーと呼ばれる指導員からノコギリの使い方を学んで枝を切りおとします。30分程度の作業後、「枝打ち確認書」や「グリーンマイスターカード」のお仕事カードが発行され、キツザニア内で使える通貨が報酬として支払われます。切った枝も持ち帰れます。この作業を通して、ノコギリの安全な使い方を学びながら、森林を健康に育てるため、太陽の光が十分に差し込むよう手入れが必要であること、それにより林業が成り立っていることを学びます。

「木を伐つてこそ 木を使つてこそ 森は元気になる」ことを子どもにわかってほしい。これが「キツザニアの森」のモットー。木に触れる子どもがふえるよう期待がふくらみます。

キツザニアの森



グリーンマイスターは作業前に仕事内容の説明を受けます。



スーパーバイザーがグリーンマイスターに作業説明に使用するボード



作業終了後、報酬を受け取ります。



自分で考えて選んだ枝をノコギリで切ります。



枝を玉切りします。